

JAきたみらい

# おひさま サラダ

2011



vol.98

3

## はいっポーズ!

《訓子府地区・福野》

菅野知美さんと巧真くん・真夢ちゃん

(紹介は2ページです)

特集

- 特別企画 **がんばれ!きたみらい農業**  
～市場編～
- JAきたみらい青年部・女性部・フレッシュミズ  
第7回通常総代会終える

# 季節の薫り



## タマネギ伏せ込み

玉葱生産量日本一のきたみらい管内で、播種したばかりの育苗マットを、ハウス内に伏せ込む作業が一斉に始まった。

生産者皆さんは、豊作への期待を膨らませている。8月上旬からの出荷目標を立て、極早生、早生、中晩生と播種日をずらし、約1ヶ月間、種まきと伏せ込み作業が続く。

朝夕の温度差を考慮し、2重、3重の被覆材をかけ、生育が均一になるように毎日が温度計とのにらめっこだ。

去年は、高温・多湿の影響を受け、収量減となった。蒸し暑さを感じるハウス内で作業を進める姿から「一番やっかいな自然とも上手に向き合い、高品質な玉葱を生産する」という意気込みが、ひしひしと伝わってくる。

【写真は2月15日、訓子府地区・西富で玉葱を10.4畝栽培する河合正重さんのハウスで撮影。右下の写真は2月14日から、訓子府町の玉葱生産者56戸で作る「玉葱共同播種集団」の皆さんが協力し合って始めた播種作業を撮影。

なお、JAきたみらい管内の玉葱生産者は530戸で、4456畝を作付けし、256,000トンの出荷を計画]



## 表紙紹介

### 笑顔がいっぱい

最後に、お父さんとお母さんは「健康で元気が一番ですが、人の痛みも分かる優しい子に育ってほしいです」と話してくれました。

「農作業で疲れても、二人の笑顔を見ると、疲れも吹っ飛びます」とお父さんの好紀さん。

「9ヶ月の真夢ちゃんは、おすわりして茶の間でテレビを見ていましたが、私たちの顔を見ると、お母さんの知美さんの方に向かってハイハイ。お母さんは「真夢、今、人見知りする時期なんです」と私たちをフォローしてくれました。功真くんは乗り物が大好きで、車やトラクターのミニチュアで遊んでいます。テレビに「おかあさんといっしょ」が入ると、功真くんも真夢ちゃんも釘付けとなり、画面の子どもたちといっしょに、体をゆすって楽しんでいきます。

「すこいね」と声をかけると、「うん」と満面の笑顔で答えてくれました。

約束の午前11時に到着し、こんにちはと玄関を開けると、功真くんが大好きなトラクターのミニチュアがたくさん並べられていました。



【ご家族紹介】

左から～お母さんの知美さん(33)と功真くん(2歳3ヶ月)、おばあちゃんのとつきさん(67)、おじいちゃんの一さん(69)、お父さんの好紀さん(38)と真夢ちゃん(9ヶ月)。菅野さんでは玉葱とてん菜などを16.5畝作付けしています。



## もくじ CONTENTS

○ 特集①	4
特別企画	
がんばれ！きたみらい農業	市場編
玉葱、馬鈴薯に続く野菜団地化形成	
○ 特集②	6
JAきたみらい青年部・女性部・フレッシュユミズ	
第7回通常総代会終える	
○ 季節の薫り	2
○ 表紙紹介	2
「笑顔がいっぱい」	
○ JAきたみらい	12
ホットライン東西南北	
○ ほのぼの広場	16
・きたみらいのホープさん	
・思い出の写真	
・マイテキスト	
「絵手紙」	
・私のパートナー	
・わが家のアイドル	
・大きくなったら	
・おらがまちのおしどり夫婦	
・まちがいさがし	
・読者の声	
○ 青年女性ネットワーク	20
○ JAからのお知らせ	22
○ おひさまサラダクッキング	26
「スモークサーモンのサラダすし」	
「ジャガイモとタマネギのスープ」	

# 玉葱、馬鈴薯に続く 野菜団地化形成

市場編

平成15年2月、JAきたみらいの誕生と同時にJA広報誌「おひさまサラダ」を発行し、現在に至っています。その間、オホーツク管内の各界で活躍されている方、食に携わる調理人、管理栄養士、さらに生産組織の代表者など48人の方々に登場願ひ、農業・農村・食・JAへの思いや意見などを伺い、組合員皆さんに紹介しました。

今月号から角度を変え「がんばれ！きたみらい農業」と題し、きたみらい産玉葱と馬鈴薯などを出荷している都府県の各市場にご協力いただき、消費地から産地への思いなどを紹介します。

第1回目は、生産者皆さんも馴染み深い、東京シティ青果㈱の沼田浩美専務にお話しを伺いました。



**㈱東京シティ青果**  
専務取締役  
**沼田浩美氏**

## プロフィール

昭和18年12月生まれ、茨城県日立市出身。昭和41年4月、㈱東京菜地青果入社。平成14年10月、㈱東京シティ青果取締役部長。平成20年4月、同社の専務取締役に就任。さらに東京ホクレン会の会長も務め現在に至る。趣味はゴルフとスポーツ観戦。家族は奥さんと2人の子供、千葉県安孫子市に在住。

いろいろな産地を訪れている中で、北海道の印象と好きな農村風景は

**景色、空気、食  
すべてが最高**

景色が素晴らしく、空気がクリアであり、食べ物が美味しく、道民の方々がとても親切で、いつ訪問しても歓迎してもらえる印象があります。好きな農村風景は、女満別空港へ降りる前の機内から見下ろすところまで広がる畑作地帯と、地上に降りてから北見管内に向かう途中の美幌川沿いに広がる玉葱と馬鈴薯畑。広大な農地に広がる絵画のような美瑛町の畑作地帯が、特に印象深いものがあります。

北海道の好きな風景は、美幌峠と知床半島の硫黄山麓から眺めるオホーツク海です。

きたみらい地域は「農業の縮図」と言われるほど、いろいろな作物が生産されていますが、きたみらい農業の印象をお聞かせ下さい

**インパクトが強い  
玉葱と馬鈴薯**

平成15年2月に、旧8JAが一つになった広域合併JAですので、非常に多品目の作物を生産していると思いますが、合併して大まかな印象が強いと思います。

きたみらいと言えば玉葱・馬鈴薯という印象が強すぎて、他の農作物の印象がとて弱く感じます。

玉葱・馬鈴薯に続く第3、第4、第5の農作物をぜひ構築していただき、JAきたみらいが誇る野菜団地を作りたいことを要望します。



▲長い畝をポテトハーベスターで行う馬鈴薯の収穫作業

当JAの販売高で大きなシェアを占める玉葱・馬鈴薯について、市場側としての感想をお聞かせ下さい。

## 格差是正と

### 品質の統一

玉葱、馬鈴薯ともに高品質で安心・安全なる生産を続けておりますが、現在の作付面積の維持、拡大をお願いしたいと思っております。

また、各地区事務所間での品質格差が到着した荷物を見ていると見受けられる時があります。地区毎の品質格差の是正、品質の統一を今まで以上にお願したいと思っております。さらに玉葱の早期出荷(8月上旬)の実施も合わせて願います。

きたみらい産の玉葱を仲買人の皆さんは、どの様な印象をお持ちですか

## 築地に大勢の

### きたみらいブランド

仲買人Aさんは「きたみらいというブランドに対して品質、安全、安心、全ての面において信頼している」。仲買人Bさんは「品質は全体的に良いが、買う日によって選果選別のバラつきが近年見られる。北見以外の産地も品質が良くなってきている。築地は銀座や繁華街に近いことから、特にお客さんの物を見る目が厳しいので、もっと品質の良い物を築地に出荷してほしい」など厳しい意見もあります。きたみらいのファンがたくさん築地にはいます。

産地として消費者皆さんにアピールしなければならぬ取り組みは

## 青年・女性と

### 手を携えたPR

きたみらい玉葱、馬鈴薯の両振興会、女性部、青年部が中心になって今まで以上の消費拡大運動をする。例えばスーパー、量販店での対面販売を経験しながら消費者の生の声を聞くことなど、産地と消費地での用途、調理方法も違うこともありま

す。強いて言えば地域、各家庭でも選ぶことを知ることでよって、新たな課題や取り組みべきことが見えてくるかも知れません。

玉葱生産者及びJAへの要望などを聞かせ下さい

## 食料基地

### 「北海道」に

### 大きな期待

全国的に日本の農業環境は生産者の高齢化、後継者不足、輸入農産物の増加などいろいろな問題を抱えている中で、期待は北海道の生産者にかかっております。そのような環境の中で、JAきたみらいに対しての要望は次の2点です。

- 1 玉葱、馬鈴薯の作付面積の維持と拡大
- 2 玉葱、馬鈴薯に続く第3、第4、第5の野菜団地化(例えば長ネギ、トマト、ブロッコリー、キャベツ、



▲市場に入荷したきたみらい産のタマネギと沼田専務

## (株)東京シティ青果の概要

平成14年10月1日、(株)東京中央青果と(株)東京築地青果が合併し、(株)東京シティ青果(代表取締役社長 福重憲二)が設立。

事業内容は、青果物及びその加工品の受託販売並びに購入販売。「生産者と消費者を結び21世紀の「築地ブランド」の創造へ」をスローガンとして平成26年12月の豊洲新市場への移転に向けて着々と準備中。資本金4億円。従業員数326名。売上高1,006億円(H22.1~12・税抜き)。本社は東京都中央卸売市場築地市場、支社は千葉県松戸市公設地方卸売市場北部市場。

- 1 有機肥料を使った土づくりと畑づくり
  - 2 L大を作りましょう！(理想は2L10%、L大50%、L30%、M10%)消費者のニーズにあつた物を作ることで収入アップの最大の秘訣です。
  - 3 生産者の団結
  - 4 今まで以上にJAに対しての応援、協力を
  - 5 産消交流会などの会議、会合に女性の参加を
- ※日本全国、どここの産地でも本当に真剣なのは女性陣です。

平成23年度

# 活動方針と新役員を決定

## JAきたみらい青年部・女性部・フレッシユミズ 第7回通常総代会終える

平成16年の設立以来、「活動の主体は支部」という基本姿勢を変えることなく諸活動を進めてきた三組織。

本部活動は、支部との連携協調を図りながらオホーツク地区及び道農青協・道女性協の活動に積極的な参加、さらには支部間交流を深める「8支部統一活動」にも取り組んでいます。

この様な中、前年度の反省をもとに新年度の総代会が2月に開催され、「農に生きる仲間作り」と「活力ある組織作りを築くためのあるべき姿」などを含めた活動方針を決め、新役員を選出して7年目の第一歩をスタートさせた三組織を紹介します。

### フレッシユミズ

## 会員増につながら 魅力ある組織作り

2月8日

JAきたみらいフレッシユミズ第7回通常総代会が2月8日、JAセンター事務所で開催され、8支部の代表40名が出席しました。

定刻の午前10時、高橋副会長の開会宣言に引き続き、高橋理事による

JA女性組織綱領の朗唱を出席者全員で行いました。

吉田会長は「22年度計画は、皆さんの協力により全て終えることに感謝したい。特に2度目となる運動会については、楽しく交流でき

た」というアンケート結果から、当初の目的を達成することが出来ました」と開会挨拶。

総代会には、JAきたみらいの大坪常務、女性部の貝沼部長と青年部の長山部長が来賓として出席。

来賓祝辞で大坪常務は、日々の営農を始め、家庭、育児などの労苦にお礼を述べた後、「全国で揺れ動いているTPP交渉参加は、農業を始め地域経済の崩壊を招く。断固反対の思いを伝えていきたい」と挨拶。

女性部の貝沼部長は「支部合同行事を積極的に取り組む姿勢に敬意を表したい」と述べ、「外郭組織の広域再編に向け、三組織とも積極的に協議を進めています。部会員が輝いて、楽しい組織作りを目指してがんばろう」と激励の言葉が送られました。

議長に相内支部の松井美幸さんと



▲「楽しい組織作りを目指してがんばろう」と来賓挨拶を述べる貝沼女性部長



▲「TPP交渉参加は断固反対の思いを伝えたい」と来賓挨拶を述べる大坪常務



▲開会挨拶を述べる吉田会長



▲出席者全員で行なわれたJA女性組織綱領朗唱

不破美絵さんを選出し、議案第1号の「平成22年度活動報告及び収支決算報告」から議案第7号の「その他」まで審議され、全議案が全会一致で

総代会では役員（三役）の改選が行われ、新三役を代表して副会長に選任された長山寿恵さんは「これから1年間、会員が楽しく活動出来るように役員11名が丸となってがんばっていきたい」と就任の挨拶を行い、会場の総代議員から大きな拍手が送られました。

なお、新役員体制は次の通りです。理事6名と監事2名は、後日開催される役員会において各支部長から互選されますので、決定次第、支部にお知らせします。

○会長 森谷 裕美（温根湯支部）  
○副会長 長山 寿恵（上常呂支部）

## 新会長に 森谷裕美さん



承認されました。2名の議長は「本年度の活動方針も決定し、新執行部を中心に進められますが、私たち会員一人ひとりが積極的に参加し、仲間の絆を深めましょう」と退任挨拶を述べ、午前11時40分に閉会しました。

- 副会長 西原真知子（北見支部）  
各支部の支部長は次の通り
- 温根湯支部 水野 和美
  - 留辺蘂支部 村上 郁恵
  - 置戸支部 大矢 知美
  - 訓子府支部 菅野あけみ
  - 相内支部 松井 美幸
  - 上常呂支部 吉田由利香
  - 北見支部 黒須 美保
  - 端野支部 横山久美子



（継承・略）



▲総代会の議長を務めた相内支部の松井美幸さん（左）と不破美絵さん（右）



▲新三役に選出された長山副会長（左）と西原副会長（右）。なお、森谷会長は当日、所用で欠席。



▲平成22年度の執行部を務めた役員の方皆さん。1年間、ご苦労様でした。

# 新事業を樹立した 活動方針などが決定

2月15日

J Aきたみらい青年部第7回通常総代会が2月15日、J Aセンター事務所で開かれ、8支部の代議員60名（委任3名含む）が出席しました。

井上副部長の司会進行のもと、定刻の10時に八木沼副部長が開会宣言。引き続き、佐藤理事によるJ A青年部組織綱領の朗唱が代議員、来賓、執行部など出席者全員によって行われました。

開会挨拶で長山部長は「我われ農業者は安全・安心でおいしい農畜産物を消費者に届け、安定した農業経営を目指す努力が必要」と話し、「その上でも、青年部活動を通して得ら

れるものは、かけがえのないものだ」と、60名の代議員に積極的な参加を呼び掛けました。

本総代会の来賓として、J Aきたみらいの大坪常務、J Aきたみらい女性部の貝沼部長とフレッシュミズの森谷会長が出席。

来賓を代表して大坪常務は「J Aは、若い農業者が継続して営農できる環境作りに努めなければならない。活気ある農業を展開することで、きたみらい農業も発展していく」と、考え方を示しました。

その後、議長に留辺薬支部の荒喜文さんと橋秀俊さんが選出され、議

案第1号の「平成22年度活動報告及び収支決算報告」から議案第6号の「その他」まで審議されました。

質疑で、留辺薬支部の佐藤耕一さんは「パートナー対策事業の具体的な内容を」、端野支部の小川貴子さん

は「青年部手帳が予算化されているが、執行部は活用しているのですか」と、2点の質問。長山部長から青年部の考え方と方向性を説明した後、全議案が全会一致で承認され、午前11時に閉会しました。



▲開会挨拶を述べる長山部長



▲激励と期待の言葉を述べる大坪常務



▲代議員57名が出席して開かれた第7回通常総代会



▲総代会の議長を務めた留辺薬支部の荒喜文さん（左）と橋秀俊さん（右）



全ての議事が終わった後、新旧役員の挨拶が行われました。旧本部署員を代表して長山部長から「昨年の今頃は、不安な気持ちを抱きながらここに立っていた。しかし、350名余りの部員と本部署員の支え、そして家族の協力も得て、部長という大役を終えたことに感謝したい。農業を取り巻く環境は依然として厳しいが、きたみらい青年部の団結力があれば、どんな困難も乗り越えられる」と退任挨拶。

引き続き、新支部長の自己紹介後、

## 新部長に

## 中村圭一さん

新役員を代表して中村圭一さんは「本年度は新たな活動が2つある。成功させるには部員皆さんの力が不可欠です。各活動とも積極的な参加を望む」と就任挨拶を行いました。なお、新役員体制は次の通りですが、理事6名と監事2名は、支部長の中から後日の第1回役員会で互選される運びとなっています。

- 部長 中村 圭一(相 内支部)
- 副部長 奥山 拓博(置 戸支部)
- 副部長 岡田 啓伸(訓子府支部)

支部長は次の通り

- 温根湯支部 児玉 渉
- 留辺蘂支部 渡辺 琢磨
- 置 戸支部 佐藤 猛
- 訓子府支部 岡崎 和久
- 相 内支部 森谷 祐樹
- 上常呂支部 今田 佳友
- 北 見支部 佐藤 正人
- 端 野支部 北川 卓也

(継承・略)



▲出席者全員で行われたJA青年部組織綱領の朗唱



▲監査報告を行う児玉監事



▲パートナー対策について質問する留辺蘂支部の佐藤耕一さん



▲青年部手帳の活用について質問する端野支部の小川貴子さん



▲本年度の新執行部を務める役員皆さん。左の写真は新三役、左から奥山副部長、中村部長、岡田副部長



▲平成22年度の執行部を務めた11人の役員皆さん

# あるべき姿を求め 組織機能の活性化

2月24日

J Aきたみらい女性部第7回通常総代会が2月24日、J Aセンター事務所で開かれ、8支部の代議員名40名（委任3名含む）が出席しました。山崎副部長の進行のもと、定刻の10時に大林副部長が開会宣言を行った後、福井理事によるJ A組織綱領の朗唱が代議員、来賓、執行部など出席者全員で行われました。

開会挨拶に立った貝沼部長は、玉葱の播種作業で忙しいなか出席した代議員と女性部活動に協力いただいたいる来賓にお礼の言葉を述べました。さらに「部員減少の歯止めとして、いろいろなアイデアを出し合って活動を取り組んで来ましたが、支部再編が求められているが、部員一人ひとりの声を取り入れ、課題解決に取り組みたい」と述べました。

総代会には来賓として、J Aきたみらいの西川組合長、J Aきたみらい青年部の中村部長、フレッシュミズの森谷会長が出席しました。

代表して西川組合長から、J A事業に協力いただいているお礼、昨年の作況状況と農業情勢、さらにTP交渉参加問題、第3次中期経営計

画の中間年としての取り組みなどについて話され、「青年部、女性部、フレミズは、J Aと一体となり活発に活動している。それぞれの組織が楽しいと、地域やJ Aにも大きな影響力を与える。将来、女性部からも“J A役員”を送り出す意気込みで、組織活動に取り組むことを期待したい」と激励とお祝いの言葉が送られました。

オホーツクJ A女性協会会長の祝電が披露された後、議長に留辺葉支部の橋佳子さんと春木君枝さんを選出し、議事に入りました。

議案第1号「平成22年度活動報告と収支決算報告」から議案第7号の「その他」まで、執行部から説明されました。質疑で、訓子府支部の高城美穂さんから、規約改正に伴う総代議員の定数変更案が8支部に下ろされたことに対し、「賛成や反対などを示した支部の状況は」と質問。

貝沼部長から「反対は1支部のみ。全支部の賛成を得ることが相応しいことから、本総会には提案していません。支部再編も含めて、組織統一検討委員会で検討していきたい」と考



▲ J A女性組織綱領を朗唱する代議員のみなさん



▲ 8支部の総代議員40名が出席して行われた第7回通常総代会



▲ 来賓を代表して激励と祝辞を述べる西川組合長



▲ 開会挨拶を述べる貝沼部長

**特集** 平成23年度  
**活動方針と新役員を決定**

○副部長 荒 えみ子(留辺薬支部)

○部長 上原由紀子(訓子府支部)

お、新役員体制は次の通り。

から大きな拍手が送られました。なと就任の挨拶が行われ、会場の総代が、新役員体制は次の通り。

部長 上原由紀子(訓子府支部)

副部長 荒 えみ子(留辺薬支部)

全ての議案が終了した後、新旧役員  
の挨拶が行われました。

旧役員を代表して三役は「昨年の今頃は、どうしよう」という思いばかりでしたが、役員的一致団結で与えられた業務を遂行することが出来たことに感謝したい。いろいろな活動を通じて、たくさん仲間を得たことは、私たちにとって貴重な財産となりました」と退任の挨拶が述べられました。

# 新部長に 上原由紀子さん

え方を説明した後、全議案とも全会一致で承認され、午前11時55分に閉会しました。



- 副部長 山崎ゆかり(北見 支部)  
※合せて、オホーツクJA女性協
- 役員も兼務
- 理事(6名)
- ・仁義 直子(温根湯支部)
  - ・春木 君枝(留辺薬支部)
  - ・斉藤のり子(置戸支部)
  - ・西森美代子(訓子府支部)
  - ・黒須 倫子(北見支部)
  - ・関本久美子(端野支部)
- 監事(2名)
- ・吉田まゆみ(相内支部)
  - ・大林 明美(上常呂支部)
- (敬称・略)



▲最後に新JA女性の歌「明日輝くために」を出席者全員で歌いました



▲退任の挨拶を行う貝沼部長(左)、大林副部長(中央)、山崎副部長(右)



▲総代会の議長を務めた留辺薬支部の橘佳子さん(左)と春木君枝さん(右)



▲新三役に選任され、代表して就任挨拶を行う上原部長(左)、荒副部長(中央)、山崎副部長(右)



▲本年度の新執行部に就任した11名のみなさん

# 美味しい料理と いい湯を堪能

～年金友の会総会に  
会員86名が出席～

AINONAI

相内



▲86名が出席して開かれた年金友の会総会

相内年金友の会（辻本健二会長）は2月23日から25日までの3日間、温根湯温泉の温根湯ホテルで第23回通常総会と保養旅行を行い、会員86名が出席しました。

総会には、相内地区の中川運営委員長も来賓として出席し、議案第1号の「平成22年度事業報告並びに収支決算報告」から議案第4号の「そ

の他」まで審議され、全議案とも全会一致で承認されました。

総会終了後の懇親会では、美味しい料理と温泉を堪能。

翌日は各種ゲームやカラオケなどを楽しみ、会員同士の和やかな会話が弾むなど、参加者の交流を深める機会となりました。

（中川 裕二）

▼和やかな雰囲気盛り上がったボーリング大会



OKETO

置戸

# 生産者と職員が ふれあいボーリング

～ボーリング大会に  
生産者夫婦など41名参加～

豊住宮農集団（中澤博之集団長）は2月5日、農家とJA職員との一層の「ふれあい」を図ることを目的に、北見市内でボーリング大会を行い、生産者夫婦と職員など41名が参加しました。

大会は個人戦で男女ハンディなしのルール。豪華な賞品も用意され、参加者のみなさんは上位を目指し、白熱した戦いが繰り広げられました。

腕に力が入り、ボールはレーンの溝に落ちるガーターや、見事なストライクの度に拍手が送られるほど和やかな雰囲気盛り上がりました。

大会終了後の懇親会では、日頃、話した事のない職員とも交流が出来たことから、生産者の皆さんは「今回を機に、気軽に会話が出来る関係が築ければ」と話してくれました。

（酒井 沙織）



## 畑地透排水性の 改善技術を学ぶ

～勉強会に  
部員23名が参加～

ONNEYU



▲排水性改善などの必要性を学ぶ部員

青年部温根湯支部(児玉渉支部長)は2月10日、JA地区事務所「勉強会」を行い、部員23名が参加しました。昨年、青年部本部の学習会で好評だったスガノ農機(株)営業本部長の田村政行氏を講師に招き、「畑地の透排水性改善」について学習。

田村部長は「昨年と一昨年は長雨などで天候に悩まされたが、これからはそれが当たり前。北海道の氣候

は10年前に比べ、完全に変わった」と話し、「畑の排水性改善や高温対策は必要。その基本的なことは、縦横に起し、深く起すことが大切」と強調しました。

農業経営に携わっている部員もあり、2時間という講習にもかかわらず、参加者は真剣な表情で聞き入っていました。

(佐藤 敏文)

東西

▼プロジェクター画面を見入る部員



KAMITOKORO



## 試験研究報告に 真剣な眼差し

～玉青支部総会に  
会員22名が出席～

上常呂玉葱振興会青年部(西内光支部長)は2月14日、支部総会をJA地区事務所で開催、会員22名が出席しました。総会では、22年度の「事業報告と収支決算報告」、23年度の「事業計画と収支予算案」などについて審議されました。

総会後には、玉葱試験研究の結果をもとに、圃場の排水性と物理性の改善によって、生育と収量に効果が

得られるかなどの土壌物理性効果改善試験の報告が行われました。

圃場比較試験では、パラソイラーによる土壌硬盤の破碎によつて排水性の改善が図られ、有効根域が広がり、さらに微量要素による土壌改良材の投入で、慣行区よりも収量増が見込めることなどの報告に参加者は真剣な表情で聞き入っていました。

(加藤 正人)

## キズや打撲イモの 改善策を発表

～収穫時衝撃試験発表に  
会員21名が参加～

KITAMI



▲品質向上対策を学ぶ部員

北見市馬鈴薯青年部（横島雅敏部長）は2月15日、JAのセンター事務所で会員21名が参加して、馬鈴薯収穫時衝撃試験発表を行いました。収穫時の選果作業で、「傷芋」「打撲芋」を減らし、品質向上につなげることを目的にしています。昨年の9月から10月にかけて、部員10名の圃場で、収穫作業中のハ-

バスターに「ジャガロポ」を通し、メインタンクや大コンまでの衝撃を測定し、どの段階での衝撃が大きいかなどを把握しました。衝撃度を下げるために、大コンの底部に緩衝材（じゅうたん・マットレスなど）を使用するなどの工夫が必要と報告されました。

（塩田こず恵）

南北

▼すべり台を楽しむ子どもたち



KUNNEPPU



## 手作りカレーで 地元食材PR

～さむさむまつりに  
2500人来場～

冬のイベント「第32回くんねっぷさむさむまつり」が2月6日、町公民館前の駐車場で行われ、町内外から約2500人の来場者で賑わいました。JA青年部訓子府支部では、2週間前から「すべり台」の制作に取り組み、来場者とのふれあいの場を提供。また当日は、地元シカ肉とスノーマーチを食材にした「手作りカレーライス」の販売も行い、地元

食材のPRも行いました。すべり台では、子どもから大人まで大勢の人が滑るのに、「順番待ち」となるほど賑わいました。カレーも昼食時には行列もでき、部員は受付や盛り付け作業に終われるなか、約350食を完売。部員は「祭りを通じ、農産物のPRや来場者とコミュニケーションが図られる」と話してくれました。

（吉澤 諒）

# 豊穰の秋を目指し 畑作技術講習会

～畑作4品の講習会に  
生産者134名が参加～

端野

TANNO



▲生産者134名が参加して開かれた講習会

ふれあい、農産、組織振興東の各グループが連携して2月18日、品目別の畑作講習会を行い、延べ134名の生産者が出席しました。

講師に、秋小麦・馬鈴薯・豆類は網走農業改良普及センターの酒井幸子地域第1係長と田中芳明専門普及指導員、てん菜に北海道糖業の石澤光主任の三氏。

小麦は、本年度より全量「きたほ

なみ」の栽培となり、収量を高める技術。てん菜では、病害対策と戸別所得補償制度の収益性について、馬鈴薯や豆類についても、栽培管理におけるポイントの説明を受けました。生産者皆さんは、5月からの本格的な植付けのために、営農準備に追われるなか、メモや質問なども出るなど実り多い講習会となりました。

(扇谷 光輔)

東西

▼家族総出で行なわれる伏せ込み作業



RUBESHIBE

留辺薬

## 植え付けまで 日々ハウス管理

～玉葱育苗ポット  
伏せ込み作業始まる～

極早生種の玉葱育苗ポットのハウス伏せ込み作業が2月16日から始まり、植え付け作業まで重要なハウス管理の時期となりました。

朝夕の温度差があるため、ハウス内の温度管理や水分調整が難しいことから、生育が均一になるようなハウス管理が求められます。

昨年は、猛暑や異常気象により温

害などの影響を受けた玉葱ですが、本年は地区全体で温室にも負けない玉葱作りを目指しています。

留辺薬玉葱振興会青年部の坂下修一部長は「苗半作というくらい大事な時期なので、植え付け作業までハウス管理に気が抜けない」と話してくれました。

(菅原 明希)

## 思い出の写真

### はしご乗り

写真は、昭和55年に端野町民芸能祭で撮影したものです。当時、鹿野内さんは川向はしご乗り同好会に所属していました。同会は、「伝統芸能を復活させたい」との思いから昭和54年に発足し、川向地区の農業青年18名で活動していました。

はしご乗りは、バランス感覚が必要とされ、下ではしごを支える人たちと息を合わせることがとても難しいそうです。

鹿野内さんたちは、農作業の忙しい合間を縫って、川向体育館に集まって練習に励んでいました。また、使用するはしごも本州から竹を取り寄せ、自分たちで作製するほどの熱の入れようでした。「みんなで集まって、一つのことに取組むのが楽しかった。終了後の懇親会も楽しみでしたね」と話してくれました。

そして、日頃練習した技を端野、北見、常呂、札幌など各地域の祭事に出向いて披露していましたが、中でも一番思い出に残っているのは、さっぽろ雪まつりで技を披露したことだそうです。

「思い返してみると、若かったから出来たんだと思います。今やれと言われても絶対に無理ですね」と当時を振り返って、笑顔で話してくれました。

(原谷 光輔)



訓子府地区・西富

小松 八重子さん(67歳)



▲実りの秋を1個の南瓜で表わした小松さんお気に入りの絵手紙



きたみらいの  
ホープさん

### 日々を大切に

相内地区・美園

大武 弘幸さん(22歳)

弘幸さんは、玉葱・水稻・てん菜・馬鈴薯・秋小麦を栽培している大武義典さん、豊子さん夫妻の長男で就農して2年目です。

#### 趣味は？

今の季節はスノーボードを楽しんでいます。後は車の洗車とDVD観賞です。

#### 理想の女性？

なんでもこい！と言う感じです（年齢、国籍は問わず）（〇）

#### 結婚はいつ頃までに？

明日にでも（〇）

#### 好きな食べ物と嫌いな食べ物は？

基本的には何でも好きですが、シイタケが苦手です。

#### 農業をしてみて感じたことは？

初めての体験ばかりで、とても刺激があり、おもしろいなあと思います。

#### 今後の目標は？

1日1日を大切に過ごしていきたいです。

(中川 裕二)

4月号の「ホープさん」は、JAきたみらい青年部端野支部の？さんを予定しています。広報編集委員が、突然、取材にお伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。



私の  
パートナー



今月号の「私のパートナー」は、今年の6月で結婚5年目を迎える大丸裕之さん、美喜子さん夫妻を紹介しします。

## 家族で旅行に

上常呂地区・広郷

大丸 裕之さん(28歳)  
美喜子さん(28歳)

Q ご結婚されたのはいつですか？

2006年の6月です。

Q 知り合ったキッカケは？

大学のゼミで知り合いました。

Q 初めて合った時の印象は？

裕之さん「明るい人だなあ」

美喜子さん「のび太くんみたいな人だなあ」

Q 結婚を決意した大きなポイントは？

お互い上手くやっていたいけそうと思ったので。

Q 美喜子さんの出身地は？

札幌市です。

Q 子どもは何人？

もし子どもが出来たら何人でもいいです。

Q どんな家庭を築きたいですか？

笑いの絶えない、明るく楽しい家庭を築きたいです。

Q 今後の目標、あるいは夢を？

裕之さん「安定した農業経営が目標です」

美喜子さん「2人で仕事を頑張って、家族旅行にたくさん行けるようになりたいです」

(加藤 正人)



〔写真説明〕

端野町役場前で披露した「はしご乗り」。仲間が支えるはしごに登る鹿野内さん。上の円写真は技を披露する鹿野内さん(上)と同地区の菅原正信さんです。

端野地区・川向

鹿野内吉実さん(58歳)



## MY テイスト

My Taste

## 絵手紙

4年前に「絵手紙」を描き始めた小松さん。きっかけは友人から届いた絵手紙です。その絵手紙は水彩画で、まるで写真のように綺麗で、ジッと見つめてみると元気が湧いてきそうな印象を受けたのです。絵手紙は「下手がいい」という言葉に勇気をもらい、町の公民館で開催された「絵手紙講座」に参加しました。

実際に描いてみると奥が深く、苦労したこともあり、「どの様に描いたらいいのか？」などの自問自答している時に、「他の人の作品を見て勉強したい」と思い立ちました。また、絵を描いていなかった頃には気が付かなかった、花の形や季節の移り変わりなどに気をとめることも多くなり、他のことも興味を持てるようになりました。

現在は野菜を中心に描いていますが、今後は風景にも挑戦してみたいと話し、「年を重ねても続けられる。もっと早く描けるようになり、たくさんの人に自分が描いた絵手紙を贈り、人と人とのつながりを大切にしていきたい」と優しく話してくれました。

(吉澤 諒)



# 大きくなったら



温根湯地区・松山  
高橋 涼 太くん (8歳)  
瑞 希くん (3歳)

## カッコいい警察官に

涼 太くん (左)

ほくは大きくなったら、警察官になりたいです。警察官はカッコいいし、パトカーに乗れるからです。今は、野球の練習やスキーの練習をしています。スキーは今度、ジュニア3級に挑戦し、野球は練習をいっぱいして、早くファーストを守りたいです。

## ショベルカーの運転手

瑞 希くん (右)

ほくは大きくなったら、ショベルカーやトラクターに乗って雪をはねたいです。おじいちゃんとお父さんが乗っているからです。

今年からスキーを始めました。スキーに乗るのも楽しいし、リフトに乗るのもへっちゃらです。

高橋秀樹さん、宏子さん夫妻のお子さんで2人兄弟です。お兄ちゃんの涼太くんはDSゲームのポケモンホワイト、瑞希くんはミニカーなどに乗って遊んでいます。

(佐藤 敏文)

# ほのぼのの広場



## わが家のアイドル



北見地区・美里 かのん  
安齊 華乃音ちゃん(1歳3ヵ月)

## 元気もりもり

とても元気な華乃音ちゃん。取材に何うと、人見知りもせず笑顔で出迎えてくれて、帰る時には、自分でドアを開けて見送ってくれました。

最近ではアンパンマンがお気に入り、普段、家ではアンパンマンのテントに入ったり、家の中を走り回って、いたずら(?)したりして元気に遊んでいます。また、食べ物の好き嫌いもなく、何でも食べられます。

そんな華乃音ちゃんに、お父さんとお母さんは「このまま健康で、素直なやさしい子に育って欲しいですね。」と話してくれました。

華乃音ちゃんは、北見地区・美里の安齊亮一さん、里実さん夫妻の長女です。

(塩田こず恵)

おらがまちの



## おしどり夫婦 昭和45年に玉葱導入



留辺蘂地区・旭1区  
坂下 仁 一さん(79歳)  
百合子さん(75歳)

仁 一さん

16歳から農業を始めた当時、水田1畝と畑作6畝を耕作し、すべてが手作業で忙しい毎日だったのを思い出します。

26歳の時に結婚。昭和42年に親から経営移譲を受けました。昭和45年には水稲が作れなくなり、玉葱栽培を始めました。当初の3年間は40%ほどを手作業で植え付け。昭和48年に、共同で移植機を購入してから面積も徐々に増え、現在は10畝ですが、時代の変化と時の早さに驚いています。

百合子さん

中学校を卒業してから、姉と2人で農家を手伝っていました。昭和32年に坂下家に嫁いだ当時は、13人家族で生活するのが精一杯の時代で、娯楽といえるものは有りませんでした。

ラッパ式の肥料播き機で1日中、畑を歩き終え自宅に戻っても、全く身動きが出来ないほどの辛さを出します。現在は、どんな作業も機械、当時、移植機や除草剤があれば「ちよっとは楽が出来たかなあ」と笑いながら話してくれました。

(菅原 明希)

# まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



## 2月号クイズの当選者

2月号のまちがいさがしの答えは「1. 4. 5. 10. 11」でした。正解者66名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJAきたみらいの坂下専務にお願いしました。

( )内は地区名

- ・大橋 静子さん(温根湯)・丸子由美子さん(相内)
- ・中川 範嗣さん(留辺蘂)・馬場 誠也さん(上常呂)
- ・森谷 大空さん(置戸)・戸田富美子さん(北見)
- ・佐藤 玲子さん(訓子府)・小川 淳志さん(北見)
- ・南 敏雄さん(訓子府)・佐藤 柚希さん(端野)

以上の方々には、日清食品のカップ麺「北の焼きそば・オホーツク塩やきそば」を5個プレゼントします。



## 応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、絶賛発売中のJAきたみらいの「ドレッシング」一玉葱味・人參味・白花豆味一の3種類をプレゼントします。

**農** 家皆さんの活発な活動の様子を楽しく読んでいます。農業から離れた現在も昔のことがあれこれ思い出され、懐かしく感じます。これからも楽しみに待っています。

(端野地区・旧川向人)

農業を巡る環境はTPP交渉参加問題など、大変厳しい状況にあります。食料生産に頑張っている農業の応援団になってほしいと思います。

**3** 月31日で勝山小学校が閉校になります。とても淋しいです。

(置戸地区・柏原 大樹さん)

長い間、地域とともに発展してきた学校がなくなることは一抹の淋しさを感じます。気持ちを切替えて置戸小学校で、たくさんの友だちを作ってください。

**昨** 年から今年にかけて、病院のお世話になることが多かった私達。巡回トックを受けていても、いつ体調を崩すが分からないことを実感しました。今年1年、無事に乗り切れますように切に願っています。

(上常呂地区・合田まゆみさん)

体調の方はいかがですか？健康に留意され、豊稔の秋を迎えてください。

**孫** たちにはコロッケ、ハンバーグなどを作り、「おいしい」と言ってくれるのを楽しみに、体に気を付けて今年も頑張りたいですね。

(訓子府地区・下地利恵子さん)

その気持ち、すごく分ります。今年もたくさん作って、お孫さんの喜ぶ顔を楽しみにしましょう。



## 仲間とともに守ろう

## 伝えようオホーツク農業

第23回オホーツクJA女性部大会・家の光大会

## JAきたみらい女性部の

## 組織活動体験を発表

オホーツク女性協議会は2月2日と3日の2日間、温根湯温泉の大江山家で第23回オホーツクJA女性部大会・家の光大会を開きました。

本大会には、オホーツク管内15JAの女性部員、事務局など約300名が参加し、きたみらい女性部も本部役員と支部役員など101名が参加しました。

主催者挨拶で馬淵会長は「オホーツク女性協の指針を決める3年に1度の大切な大会。大会スローガンである『守ろう、伝

えよう、オホーツクの実りある大地と仲間と強い団結で！』のように、皆さんで作りに上げていきたい」と述べました。

オホーツク総合振興局の山田恵二産業振興部長、オホーツク農協組合長の佐藤正昭副会長、オホーツク青年部協議会の平岡敏幸副会長から祝辞が述べられました。

大会では、馬淵会長から組織討議結果の報告、さらに3カ年計画の基本方針として5項目の申し合わせ事項を決定しました。また、TPP（環太平洋経済連携協定）交渉に関し、参加断固反対の特別議決も採択して終了しました。

各種報告・発表では、同協議会の執行部から「東北・北海道リーダー研修会」と「JA全国女性大会」が報告されました。組織活動体験発表

では、当女性部の貝沼部長が「新しい『きたみらい女性』を求めて」と題し、プロシエクターの画面を通して本部・支部活動内容と報告と、組織の現状と課題、さらに目指すべき方向性などを発表。

午後3時半から、家の光協会・北海道東北普及局の市沢嘉雄局長が『持ち寄り読書』をすすめるよう『家の光』で『ワイワイおしゃべり』情報交換』と題して講演。

会場の参加者とのジャンケンゲームで場を和ませ、持ち寄り読書のポイントを紹介した後、女性部で取り組んでほしい」と強調しました。

初日の最後にはアトラクションも行われ、6JAの女性部が参加。

当女性部から相内支部が「千の風になつて」など2曲をハンドベルで演奏。留辺蘂支部は「人生まあまあるの替え歌を披露。優しく響きわたる



▲初日の研修会で300名の女性部員とジャンケンゲームで、場を和ませる家の光協会北海道北普及局の市沢嘉雄局長（円写真）



▲フラワーハーモニー展で最優秀賞を受賞した相内支部の花壇写真（右）と優秀賞を受賞した訓子府支部南地区の「まつぼっくりの置物」



第23回オホーツクJA女性部大会・家の光大会



女性

# 青年女性ネットワーク

第15回JA北海道女性協議会フレッシュミズ部会北海道交流会が1月27日・28日の2日間、札幌市内のホテルで開かれました。

各地区のフレッシュが集い、組織の学習、仲間づくり、情報交換によって交流を図り、次世代の女性組織活動のリーダーを育成するとともに組織活動の活性化を図ることを目的として毎年開催され、今回は道内から約60名が参加しました。

当JAのフレッシュからも吉田美穂会長(道フレッシュ副会長)、高橋宏

子副会長、今田恵副会長、森谷裕美理事の役員が参加し、見聞と交流を深めました。

1日目は「フレッシュミズの主張」全国コンクールの予選発表が行われ、3名の方から主張が発表されました。その後、「組織活性化と新規加入について」をテーマにグループ討議に入りました。

参加者は8グループに別れ、組織活動を活性化させる3つの「気」(勇気・やる気・元気をポイントに抑えながら、①現状の加入促進に對

する取り組み。②現状の課題・問題点。③今後の加入促進に向けた取り組みについて話し合いました。

2日目は、前日の主張コンクールの結果発表が行われ、JAえんゆうの宮嶋徳子さんが最優秀賞を受賞し、オホーツク地区から2年連続の受賞となりました。その後、野菜ソムリエの吉川雅子さんが野菜を中心とした消費動向や栄養の知識などについて講演。北海道文化服装専門学校による「アグリファッションショー」、エ

ベ物の一番大事なことは「食べた人が元気になること」怒りながら作った料理はおいしくない」「ウソでも笑いながら作った料理はおいしくなる」と話しました。

また、食に困窮していない環境の子供は、食に無関心の子供が多いので、「食育」が大事であり、その親にも食のあり方を教える事も必要と述べ、講演を結びました。

2日間、別会場に展示されていたフラワーハーモニー展と生活工夫展の審査発表と表彰が行われ、当女性部から3点の入賞がありました。

2日間、別会場に展示されていたフラワーハーモニー展と生活工夫展の審査発表と表彰が行われ、当女性部から3点の入賞がありました。

クラフトのカゴ作りを研修し、2日間の全日程を終えました。

▲北海道文化服装専門学校の生徒によって開かれた「アグリファッションショー」上段の写真は交流集會に参加した吉田会長、今田副会長、高橋副会長、森谷理事(左から)

## 全道のフレッシュ集い 組織活動の活性化を目指す フレッシュミズ部会全道交流集會

▶アイデアいっぱいの衣装姿で、日頃の思いを込めた歌詞に会場を盛り上げ、「人生まあまあ」の替え歌を披露する留辺薬支部のみなさん。



▲相内支部のみなさんが演奏する「ハンドベル」の優しい音色で会場もうっとり

鐘の音にウツトリ、アイデアいっぱいの衣装で、日頃の思いを込めた歌詞に会場は爆笑で沸き、盛大な拍手と声援が両支部に送られました。

2日目は、料理研究家の枝元なほみ氏が「地元の食材でおいしいお母さん料理を」と題して講演。「死ぬ前に食べたい物」今までで一番おいしかった物」を参加者に聞いて回り、いろいろな答えが出されました。食

また、食に困窮していない環境の子供は、食に無関心の子供が多いので、「食育」が大事であり、その親にも食のあり方を教える事も必要と述べ、講演を結びました。

2日間、別会場に展示されていたフラワーハーモニー展と生活工夫展の審査発表と表彰が行われ、当女性部から3点の入賞がありました。



▲生活工夫展で優秀賞を受賞した訓子府支部・須河淳子さんの「玉葱クラッカー」

# 事業方針などで

## 意見を交換

### 冬期地区別懇談会終える

2月14日と16日、18日の4日間、午前と午後の時間帯でJAの「冬期地区別懇談会」を開催しました。

懇談会は女性部、青年部、フレッシュユミズの出席が多かったものの、全体として前年の460名を下回る414人の出席となりました。

JAからは、常勤役員も出席し、地区運営委員長の司会の下で進められました。

限られた時間の中で、資料に基づき①平成23年度事業計画基本姿勢(案)並びに部門別経営計画②平成22年産共計玉葱・馬鈴薯並びに畜産

情勢③馬鈴薯施設整備計画の概要に

ついて④農業者戸別所得補償制度に

ついて⑤北海道信連の経営状況と自

己資本造成計画⑥組織体制の再構築

に向けた考え方についてなどを説明

その後、数多くの組合員皆さんか

ら活発な意見と質問が延べ116件

出されました。

なお、地区ごとの出席状況は別掲

の通りですが、質問・意見・要望な

どについては、3月の定例理事会で

要約し、「Q&A」としてプリントし、

お届けする予定です。

## 玉葱と馬鈴薯を

### 学校給食に

#### 1市1町に5・4トン

JAきたみらいの西川組合長など7名が2月7日、北見市役所を訪れ、地元産の玉葱2・6トンと馬鈴薯2トンを贈りました。

地産地消や食育推進を目指し、学校給食に活用してもらおうという昨年に続くプレゼントとなり、同市のほかJA管内の置戸、訓子府両町

地区毎の懇談会出席状況

地区名	組合員戸数	出席戸数	出席率	出席者数
温根湯	79	25	31.6%	35
留辺蘂	42	24	57.1%	30
置戸	121	63	52.1%	63
訓子府	322	74	23.0%	75
相内	116	40	34.5%	40
上常呂	131	30	22.9%	31
北見野	233	59	25.3%	59
端野	220	81	36.8%	81
合計	1,264	396	31.3%	414



▲置戸町中央公民館で開かれた地区別懇談会場。なお、写真は組織体制の再構築について質問する高谷勲さん(右側で立っている方)

## TPP参加反対!

### 懸垂幕でアピール

JAグループ北海道が作成した環太平洋経済連携協定(TPP)参加反対を求める大懸垂幕を2月22日、JAセンター事務所壁面に掲げました。「北海道、農業・経済・生活を守

れ! TPP参加反対!」と市民や車で通りかかったドライバー、さらにJAの金融窓口を訪れた利用者に訴えています。

TPPに参加した場合、第1次産



▲置戸町教育委員会の和田教育長に目録を手渡す玉葱振興会の会田貢会長

にも贈りました。西川組合長と坂下専務、きたみらい玉葱振興会の会田会長、馬鈴薯振興会の南会長らが小谷市長に目録を手渡しました。西川組合長は「子どもたちに地域の安全・安心な食材を食べてもらい、地域の農業を理解してもらえらるきっかけになれば」と期待を述べました。南会長は、贈呈した馬鈴薯の新品種「スノーマーチ」の特徴を説明し、「これを食べた子どもたちから、たくさんの笑顔が広がればうれしい」と話していました。贈られた玉葱などは2、3月中旬に市立保育園や小中学校の給食として使用されます。



▲菊池訓子府町長に目録を手渡す馬鈴薯振興会の南博敏会長(左)



▲玉葱などを贈った西川組合長(左2人目)らと小谷北見市長(右2人目)



▲JA事務所の壁面に掲げられた大懸垂幕

業が北見経済を支えていることから、農業のみならず関連産業などに大きな打撃を与えるとともに、雇用喪失なども懸念されています。またJAは、TPP交渉に参加しないよう政府に求める8500人規模の署名活動も進めています。2月10日からは、JA管内の北見訓子府、置戸の3市町、農業関係団体、商工会、北見市消費者協会、建設、運送業界など約30団体を訪問し、理解と協力を要請しました。2月末現在で6048人分の署名が集まっていますが、8500人達成に向け4月下旬まで活動を続ける予定です。

### TPP交渉参加反対 署名用紙の提出について

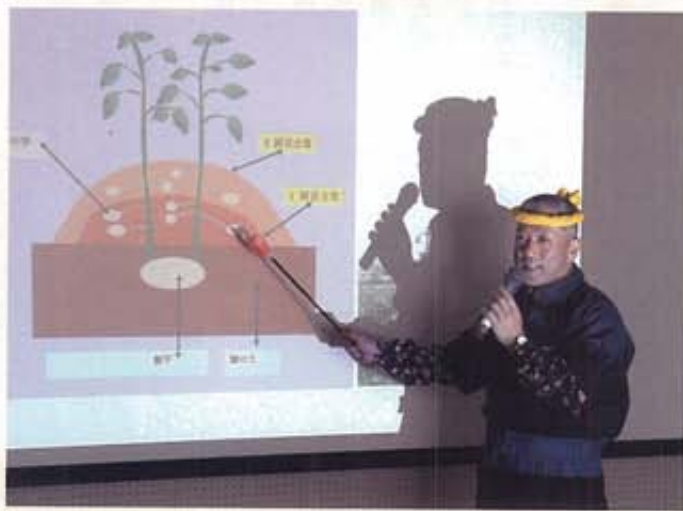
署名運動の協力依頼につきましては、2月号の「おひさまサラダ」に折り込みでご案内しました。提出期限は2月24日となっていますが、「署名した自宅にある」あるいは「まだ署名していない」などの場合、春の営農準備などでお忙しいこととは思いますが、趣旨にご理解とご協力をいただき、早急に地区事務所の担い手育成Gへ提出願います。

# 馬鈴薯テーマに食育

## 札幌市の新琴似南小学校で

道内のJAやホクレンで作る北海道産青果物拡販宣伝協議会は今回、野菜を中心とした食育活動「Green教室」を札幌市の小学校で行いました。消費地の子どもたちに生産者自らが直接、野菜の魅力や知識を伝える試みで、2月24日は市立新琴似南小学校で、総合学習の授業の1環として、馬鈴薯をテーマに行われました。

当日は、当JAのきたみらい馬鈴薯振興会の南博敏会長と販売企画部企画開発グループの加藤秀樹調査役が参加しました。野菜ソムリエの萬年暁子さんの司会進行で、4年生約80人と父母に馬鈴薯や道産野菜を説明し、「男爵」「メークイン」「フィンカのめざめ」の3種類の食べ比べも行い、児童には、栗の味に似た「インカのめざめ」が人気を得ていました。児童は国産馬鈴薯の7割以上を北海道で生産していることや、北海道で約250種の野菜が作られている



▲馬鈴薯が栽培される生育過程を農作業着姿で説明する南会長（掲載している写真は、日本農業新聞北海道支所の提供）

ことにも驚きを表していました。南会長は農作業着姿（つなぎ服、腕抜き、タオルなど）で、馬鈴薯栽培などをユーモア交えて話しました。初めて札幌での食育を終えた後、南会長は「野菜はスーパーで出来るのではなく、土の栄養や水分が育むと教え、子どもたちが食や命を真剣に考える機会にしたい」と意気込みを話してくれました。

# スノーマーチ

## 料理に万能

### コープさっぽろが料理講習

コープさっぽろ北見地区本部は2月15日、市内のきたみ春光店で馬鈴薯新品種「スノーマーチ」を使った料理講習会を行いました。JAきたみらいも「スノーマーチ」10\*の提供と講師紹介などの人的協力を行いました。

「スノーマーチ」は2008年、訓子府町で栽培を始め土壌病害に強く、貯蔵すると甘味が増すなどの特性があります。煮崩れしにくいので煮物料理やカレーに適しており、1月5日から市内のスーパーで販売されています。JAは今後の主力品種の一つとして作付けを増やす計画を持っています。



▲野菜のミルク煮のアクとりを指導する石川さん(右)と参加者

川修さんを講師に、「スノーマーチ」と魚介類を卵や生クリームなどと合わせ、オープンで焼いた「キャッシュユ風」などを学びました。また「スノーマーチ」と「男爵いも」をそれぞれ千切りにし、固めて焼いたガレットも作り食べ比べも行いました。

講習会には生協組合員20人が参加。フランス料理店に勤務経験があり、訓子府町で畑作経営を営む石



▶ガレットにして食べ比べたスノーマーチ(下)と男爵いも

参加者の小滝ひとみさんは「スノーマーチはスイーツの原料としてもおもしろいのでは」と、食べ比べの感想を話していました。石川さんは「消費者のみなさんが、地元食材に高い関心を寄せていることがヒシヒシと伝わってきた」と話していました。



## 第1回 理事会報告

●平成23年2月25日(金)

2月25日、午前9時30分より第1回定例理事会が開催され、報告事項15件、議決事項12件が協議され、原案通り承認されました。

### 【報告事項】

- ①監査報告（決算棚卸・自己査定・クミカン精算状況）について
- ②平成23年度監事監査計画について
- ③内部監査（融資無通告・コンプライアンス倫理）報告について
- ④平成22年度内部監査業務活動報告について
- ⑤組合員状況報告について
- ⑥地区別懇談会の実施状況について
- ⑦信用評価基準による階層区分の設定及び平成23年度再建対策農家の選定について
- ⑧平成23年度農家経済再建対策指導方向について
- ⑨貯金金利の改定について
- ⑩平成23年産畑作物作付け指標面積の設定について
- ⑪農業農村整備事業に係る協議について
- ⑫平成22年産共計玉葱・馬鈴薯の選果状況及び共計単価について
- ⑬平成22年産てん菜の本精算について
- ⑭平成22年産もち米の取扱いについて
- ⑮平成22年度資産査定に係る2次査定結果について

### 【議決事項】

- ①出資減口及び持分譲渡について
- ②固定資産の取得について
- ③監事監査規程の変更について
- ④平成23年度コンプライアンス・プログラムの制定について
- ⑤平成23年度の余裕金運用について
- ⑥資産査定要領の改正について
- ⑦平成23年産てん菜作付け確保対策について
- ⑧税効果積立金の取崩しについて
- ⑨平成22年度事業報告及び収支決算状況について（貸借対照表・損益計算書）
- ⑩平成22年度剰余金処分（案）について
- ⑪水田・畑作経営所得安定対策等支援資金の借入について
- ⑫当組合との利益相反取引に係る取扱いについて

北見市のご当地グルメとして定着した塩やきそばを家庭でも作って、オホーツク北見塩やきそば推進協議会は2月27日、北見市民会館で料理教室を開き、親子13組33人が楽しくチャレンジしました。

塩やきそばは2007年4月から、タマネギ、ホタテなども含め地元産素材をフル活用したご当地グルメとして、市内の飲食店で始まり、この3年9ヶ月で約41万5千食が販売されています。

講師は同協議会の梶井敬幸会長が務め、材料の切り方、温泉卵の作り方や味加減など分かりやすく指導しました。子どもたちはお母さんに教わりながら、野菜を細かく切ったり、フライパンで炒めたり、苦戦しながら塩やきそばの他に「魚介とお米のサラダ」「オホーツク北見オニオンスープ」も完成させました。子ども2人と参加した市



▲史央ちゃんにタマネギの千切りを指導するお母さんの美幸さんと優しく見守る優佳ちゃん

## 地元食材たっぷりの塩やきそば作り

### 親子料理教室に33人参加

講師は同協議会の梶井敬幸会長が務め、材料の切り方、温泉卵の作り方や味加減など分かりやすく指導しました。子どもたちはお母さんに教わりながら、野菜を細かく切ったり、フライパンで炒めたり、苦戦しながら塩やきそばの他に「魚介とお米のサラダ」「オホーツク北見オニオンスープ」も完成させました。子ども2人と参加した市

内豊田の松井美幸さんは「親子で料理を作る体験は貴重なことと思い、参加しました」とにっこり。長女の優佳ちゃんは「お母さんと妹と一緒に作ったから楽しかった。味も最高」と話しながら、完成した塩やきそばを味わっていました。

### JA事務所

## 始業時間の変更

4月1日

4月1日(金)から、センター事務所、8地区事務所、資材店舗などの始業時間に変更になりますのでお知らせします。

### ■事務所・資材店舗■

・従来の午前8時30分から

午前8時40分に変更になります。

なお、終業時間は従来通り

※ホクレン給油所は従来通り、変更はありません。

## JA酪農セミナーのお知らせ

JAではきたみらい酪農振興協議会と共催し、次の通り「酪農セミナー」を開催致しますので多くの組合員皆様を受講されますようお願い致します。

○とき 平成23年3月17日(木)

午後1時30分から

○ところ JAきたみらい訓子府地区事務所  
3階大会議室

○講師 (社)北海道酪農検定検査協会  
企画調整部 部長 熊野 康隆 氏  
演題「牛乳を知ろう・昨年の猛暑の影響は？」



【材料：4人分】

米	.....	米用カップ3(540ml)
レタス	.....	4~5枚
タマネギ	.....	1/4個(50g)
固ピーマン	.....	1個
アスパラガス(色よくゆでる)	.....	4本(80g)
※ケーパー	.....	大さじ2
酢	.....	60ml
A 砂糖	.....	大さじ1/2
塩	.....	小さじ1
オリーブ油	.....	大さじ1と1/2
スモークサーモン	.....	150g
スライスアーモンド	.....	大さじ4

※ケーパー…フウチョウソウ科の花のつぼみのピクルス。スモークサーモンと相性が良い。

## スモークサーモンのサラダすし

【1人分約577kcal】

【作り方】

- ①米はとぎ、すし飯の線まで水を加えて普通に炊く。
- ②レタスは食べやすい大きさにちぎる。
- ③タマネギは薄切りにして水にさらし、水気をしっかりしぼる。ピーマンは6~7mm角に切る。Aを合わせ、ケーパーとタマネギ、ピーマンを混ぜる。
- ④スライスアーモンドは、うっすら茶色になるまで、フライパンで空いりする。
- ⑤スモークサーモンは食べやすい大きさに切る。
- ⑥ご飯が炊き上がったなら、粗熱を取り③を漬け汁ごと混ぜ合わせて冷ます。
- ⑦スモークサーモンとレタスをご飯にのせ、ざっくり混ぜる。器に盛り、アスパラガスとアーモンドを散らす。

メモ

うれしいことがたくさんある春。こんな彩りの良いすしは楽しさを演出します。季節感のあるものを少しプラスするのもこつです。

# おひさまサラダ COOKING

♥おいしいもの大好き!♥



【材料：4人分】

ジャガイモ	.....	2個(300g)
タマネギ	.....	1個(200g)
セロリ(茎)	.....	1/2本(50g)
ニンニク	.....	1片
トウモロコシ(粒・冷凍)	.....	50g
バター	.....	10g
水	.....	カップ5(1000ml)
A スープのもと	.....	小さじ2
ローリエ	.....	1枚
塩	.....	小さじ2/3
こしょう	.....	少々
コーヒー用クリーム(液状)	.....	4個(20g)

## ジャガイモとタマネギのスープ

【1人分約122kcal】

【作り方】

- ①ジャガイモは皮をむき、2~3mm厚さの半月切りにする。タマネギは薄切りにする。セロリは薄い小口切りにする。ニンニクはみじん切りにする。
- ②厚手の鍋にバターを溶かし、①を炒める。バターがなじんだらA、トウモロコシを入れ、ジャガイモがやわらかくなるまで15分ほど煮る。
- ③②に塩、こしょうで調味し、器に盛る。好みに1人に1個、クリームを入れる。

メモ

ジャガイモをちょっと煮崩れするくらいに煮込んで、ほっとする味のスープです。クリームを入れるとポタージュのようにまろやかになります。

### 編集後記

- ・第53回全国家の光大会が2月8日に横浜市で開かれ、北海道からも31名が参加し、その内17名が女性だった。31名の1人として私も参加したが、JA道女性協議会役員11名の皆さんと、女性部組織の課題や今後の方向性などを話すことができた。
- ・JAの広域合併が進むと同時に、女性部も広域化されるに伴いメリット、デメリットが生きているのは当女性部のみならず、他の女性部も同様だった。紙面スペースから一つひとつ記することが出来ず残念だが、お酒などを飲み交わし夜遅くまで会話が弾む中、「地域を元気にするのは農村女性」「女性部の魅力を部員一人ひとりが行動で発信して行くことが大切」と結び、農村女性が表舞台に立って活躍することを願い、全員で乾杯した。

(編 仁志)

### JAきたみらい概要

(平成28年2月20日現在)

- ・組合員数(正) 1,840人
- ・組合員数(准) 6,015人
- ・組合員戸数(正) 1,263戸
- ・貯 金 99,018百万円
- ・貸 出 金 16,909百万円
- ・出 資 金 5,082百万円

# 安全な農作業のために

## 【農作業事故死が減りません】

農作業上の死亡事故は減る気配をみせていません。

一方、建設業は昭和46年から平成21年の間に8割以上も事故死が減少しています。平成21年には農作業事故死374件と、建設業事故死371件を上回っています(図1)。



図1 農作業事故死と建設業事故死の年次推移(全国)

## 【平成22年度上半期(4~9月)のオホーツク総合振興局管内農作業事故発生状況】

### 1 オホーツクの事故件数は454件

平成21年度のオホーツク管内における農作業事故件数は、全国、全道平均よりも高い傾向にあります。

発生割合は、全道事故件数2,601件のうち454件と17.5%を占めています。十勝について2番目に多い件数となっています(図2)。



図2 振興局別農作業事故件数

### 2 平成22年4月~9月の農作業事故発生状況

農作業事故のけがの種類は、打撲57件、骨折53件、裂切傷44件、切断8件です。骨折と切断を合わせると全体の26%を占めており、重傷事故の多いことが伺えます(図3)。

けがの原因は、機械・施設からの転落による骨折、機械整備中の打撲、牛による打撲が多く発生しています。市町村別事故件数は、北見市51件、小清水町29件、湧別町22件となっています(図4)。就業者千人当たり事故件数では、西興部村、雄武町、小清水町、清里町、興部町で千人当たり20件以上の事故が発生しています。



図3 農作業事故のけがの種類

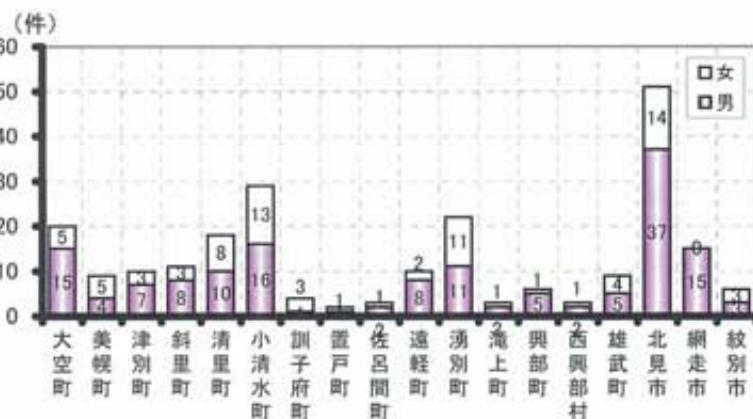


図4 市町村別事故件数

### 3 死亡事故発生状況

平成21年度ゼロだった農作業による死亡事故は、平成22年度において4件発生しています(表1)。

表1 オホーツク管内死亡事故発生状況

発生日	市町村	性別	年齢	事故
4月29日	美幌町	男	75	耕耘機とハウスの支柱に挟まれ窒息した
9月14日	津別町	女	79	ポテトハーベスタから転落したか、後輪にひかれたと推定される
9月24日	大空町	男	34	ロールペーラに巻き込まれた
9月25日	湧別町	男	54	かぼちゃの収穫作業中、トラクタが段差に転落し下敷きになった

# 農作業安全「MMH」運動をみんなで取り組もう！

## M トラクター等運転は、交通ルールと運転マナーを遵守しよう！

- 道路走行に必要な運転免許、作業に必要な受講証・免許を取得し、道路走行時には一般自動車と路上で共存を図るために、保安装備を的確に付け、道をゆずる・迂回路を使う・使用道路時間帯を配慮する等、一般交通の妨げにならないよう心掛けると共に、道を汚さない等の運転マナーを遵守しよう。

## M 点検・整備の励行と低速車マーク・反射テープ等の装着をしよう！

- トラクター等農耕作業用自動車は、自動車検査制度（車検）の義務が免除されたが、整備不良は重大な事故を招く恐れがあるため、自主的に点検・整備を励行しよう。
- 一般自動車との速度差が大きく追突事故につながる恐れがあるため、低速車マークや反射テープ等の貼り付け、また保安灯火等を装着して、後続車に早く認知させ事故が起きないように配慮しよう。

## 保 険 H 農業労災保険と傷害共済・自動車共済等任意保険へ加入しよう！

- 農作業事故・交通事故が発生すると受傷した本人はもとより、農家経済全体に重大な影響を及ぼすため、万一の事故に備えて労災保険・共済等任意保険に加入しよう。
- 農耕用トラクター（小型特殊）は自賠責への加入が除外されたが、事故時には賠償責任は免除されません。まさかの事故に備えて自動車共済への加入により安心して経営を行おう。

### 【トラクターの日常保守点検を行いましょう！！】

トラクター使用での事故が多発しています。日ごろの点検が事故防止につながりますので保守点検を行いましょう。

#### 1. 燃料点検

- ①作業前「燃料が十分入っているか確認」 ②燃料漏れの確認
- ③燃料フィルター、ストレーナーに塵埃が沈殿していたら除去

#### 2. 潤滑系統

- ①エンジンオイルの量の確認 ②油漏れの確認 ③グリースニップルの破損の確認

#### 3. 冷却系統

- ①ラジエターに冷却水が規定量入っているか確認 ②ラジエターキャップがきちんと締められているか確認
- ③ラジエターホース・ドレインコック等からの冷却水の漏れの点検 ④ファンベルトの張りの点検
- ⑤ラジエター部のゴミの除去

#### 4. 走行系統

- ①タイヤの空気圧の確認 ②タイヤの亀裂・損傷とボルト・ナットのゆるみ等の確認
- ③ブレーキの効き具合・左右の差 ④ブレーキ連結の状況 ⑤駐車ブレーキの効き具合
- ⑥操作ハンドルの遊び・ガタの適否 ⑦クラッチの効き具合の確認

#### 5. エンジン関係

- ①回転計、油圧計、充電計、燃料計、水温計の確認 ②エンジンのかかり具合・異音の確認 ③排気色は適正か

#### 6. 電気系統

- ①前照灯、尾灯、制御等、後退灯、作業灯、番号灯、方向指示灯の確認 ②クラクションの鳴り具合

#### 7. PTO、油圧関係

- ①PTO作動の確認 ②油圧レバー作動の確認



一瞬の気のゆるみが事故につながるケースが多く見受けられます。  
日々の作業工程を振り返り、農作業安全対策を実施しましょう。